

## 第 39 回 いなべエフエム番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 2020 年 12 月 16 日(水) 10 時 00 分～
2. 開催場所 北勢市民会館 視聴覚室
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 5 名

### 出席委員の氏名

佐藤 貴志委員長 辻 忠樹副委員長  
下田 禎己委員 藤川 里美委員  
森川 里佳委員

### 欠席委員の氏名

成橋 貴夫委員

### 事務局

弓矢孝己 中林謙太 浅山優平  
種村茂高 瀬古忠光

## 4. 審議事項

1. 報告事項
2. 審議用サンプル番組について  
サタデーいなべーション  
(12/5.12 放送)

## 5. 議事の経過の概要及び結果

### 事項 1.報告事項

事務局より

- ・1 月～3 月の番組について報告

### 事項 2.審議用サンプル番組について

委員

今までにない番組（審議用サンプル）で軽快でスタートしておりそこですぐ惹かれる。

時々ミスもあったが、自分たちで上手く解決している。

あまり堅苦しくても聞いてくれないし、しっかりした情報も必要ですが、そこもしっかりと伝えられているのでいいのではないのでしょうか。

今回のサンプル番組とは違うが（開催日に積雪があったため）、いなべ市内の積雪等での道路情報等、早くどこで聞けるかという事を市民に周知していただけるとありがたい。出勤前等、いなべ FM を聞けば間違いないと思っていただけるようにしていただきたい。

#### 委員

カツラギさんの放送は初めて聞きました。1番組だけでは判断しかねるが、聞き流せるかるいトークで、お昼の時間帯にはあっている。モニターの報告書では高評価をいただいていますし、地元のイベントにもでているということですが地元の方で親しみやすい方ならもっと出演して盛り上げてほしいと思いました。

先程から話が出ていますが、雪がこれから心配ですので、情報をタイムリーに流していただきたいと思います。電車、バスの運行情報、一般、高速道路、そういった情報をしっかりと繰り返し流して頂ければありがたい。

#### 委員

カツラギさんは双子の芸人さんで双子ならではの掛け合いで終始楽しく聞かせていただいた。中盤でいなべ市のイベント情報を紹介していただき、言葉の意味や内容、商品の紹介をしっかりと詳しく説明していただいている。この番組を聞かれた方はこのイベントに参加してみようかなと思っていただけたのではないかなと思いました。今後も市のイベント等の情報をどんどん流していただきたいと思いました。

番組内で曲が2曲あったと思いますが、一つの番組で曲数等決まりがあるのでしょうか。

#### 事務局

この番組に関しては2曲と決めています。あと、必ずではないですが、季節、時期、テーマに合ったものを選ぶようにしています。今回は12月放送という事で「冬」や「クリスマス」といったことで選んでいます。

#### 委員

楽しく聞かせて頂きました。この番組の収録方法等は。

#### 事務局

放送前月に収録しています。一回の収録につき月の前半、後半に分けて30分を2本収

録しています。

委員

この番組の後のいなべ総合学園さんの番組はどうか。

事務局

最終調整はこちらで行いますが、それまでは全ていなべ総合学園高校さんに制作していただいています。

委員

曲の選曲はパーソナリティさんが行うのか。

事務局

生放送は基本、パーソナリティが選曲しています。

## 6. 審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定

## 7. 公表の方法

自社ホームページ

## 8. その他

事務局

先ほどもお話が出ましたが、昨日大雪が降る可能性があるということで昼夜問わず放送できる態勢をとっておりました。警報が出ればいなべ市災害対策本部と連携してすぐに動ける状態にしております。夕方からも降雪が予報されていますので、引き続き明日までそのまま準備しております。

「リアルタイムな情報を」ということですが、生放送の場合、大雪等で気象状況が悪化している場合等の時には、気象情報や交通情報を多めに放送しております。通常2時間の生放送番組内では、1時間につき1回ですが、これを3回から4回に増やしリアルタイムな情報を発信できるようにしております。

また、災害が起きそうな場合や緊急割込放送等があった場合は、生放送だけではなく番組を変更してスタジオから生放送を行うようにしています。

委員

その情報は全て市を通してやるのですか。

#### 事務局

いなべ市からの情報も多いですが、いなべ警察署、気象庁等からも情報を取りながらやっております。

#### 委員

地域の情報で、市や警察に言わなくてもいいような小さな身近な情報（雪で竹などが倒れてきているような）も出せるといいのでは。

#### 事務局

以前、台風の時に市民から情報をいただきました。こういった情報は必ず正しい情報なのか確認の上、放送しております。

今後はそういった情報をどんどん市民の方からいただけるような体制を作っていかなければならないと思っています。

#### 委員

市役所の情報はどちらから。

#### 事務局

いなべ市災害対策本部及び防災課もしくは広報秘書課よりいただいています。

#### 委員

災害対策本部は防災課が中心に立ち上げ、広報秘書課の職員が広報班という事で出動します。他のマスコミへは幹線道路等の大きな情報のみしかお伝えしませんが、それに加え地域の身近な情報（倒木、河川の情報等）はエフエムさんへお伝えするようになっていきます。

停電情報も聞きたいといわれる方もあって、9月の大雨の時でも、中部電力のホームページもアクセスが集中して見るができなかったり、テレビではいなべ市の地区までは出ないのでラジオで聞けると、という声もあったのでそういった事もお伝えしていこうと思います。

#### 事務局

以前の台風ではこちらにも停電情報の問い合わせがありました。災害の備えとして、東海地区のコミュニティエフエムと中部電力さんと協力体制を作ろうとしています。ただ、停電情報と言っても細かく難しい情報で、この辺りを上手くコミュニティエフエムと連携できないかという事で進めています。先ほど委員が言われました通り身近な情報を発信することが大きな役目だと思いますので、色々な組

織や地域の方と連携しながら身近な情報を集めて正確な情報を流すという事を確立したい。また、いなべ市にも企業がたくさんありますし、通勤途中等に災害が起こる心配もあると思いますので、企業さんとも連携してやっていきたいと思ひます。

#### 委員

市からもらった情報だけをそのまま流すのであれば市でも流せる。エフエムはエフエムの特徴のあるやり方で放送しないといけない。市民が情報を共有しよう、とならなければできないと思う。

そうなるら皆さんラジオを聞くようになりますね。

以上